



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月13日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6090 URL http://humanmetabolome.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 菅野 隆二
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理本部長(氏名) 村上 秀明 (TEL) 03-3551-2180
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	91	—	△89	—	△88	—	△89	—
26年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △90百万円(—%) 26年3月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△17.22	—
26年3月期第1四半期	—	—

※1. 平成26年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第1四半期の数値及び平成27年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しているものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,713	1,480	86.4
26年3月期	1,759	1,548	88.0

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,480百万円 26年3月期 1,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	242	18.8	△164	—	△163	—	△161	—	△30.66
通期	780	27.8	△30	—	41	587.6	31	—	5.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期1Q	5,253,700株	26年3月期	5,173,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	一株	26年3月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期1Q	5,223,067株	26年3月期1Q	一株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社の決算補足説明資料は決算発表後に、平成26年8月21日 (木) 及び22日 (金) 開催予定の個人投資家向説明会の配布資料は説明会開催後速やかに当社ウェブサイト (<http://humanmetabolome.com/ir/library>) に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然海外の景気に対する不透明感が残るものの、設備投資の増加や個人消費の一部に持ち直しの動きが見られる等、景気は緩やかに回復しております。当社が属するライフサイエンス業界においては、遺伝子解析分野での事業提携や買収が行われる等、個別化医療や予防医療の実現に向けた取り組みが活発になっております。

このような状況の中、当社グループはセミナーの開催やキャンペーンの実施により積極的な販促活動を展開した他、大うつ病性障害及び肝疾患のバイオマーカー開発を進めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は91,870千円、営業損失は89,712千円、経常損失は88,804千円、四半期純損失は89,960千円となりました。

セグメントの状況を示すと、次のとおりであります。

① メタボローム解析事業

営業体制強化のため営業担当者を増員した他、セミナーを17回開催し医薬分野での販促に注力しました。この結果、売上高は59,935千円、セグメント利益は9,099千円となりました。

② バイオマーカー事業

大うつ病性障害のバイオマーカー開発においては、体外診断用医薬品開発に向けた開発を進めた他、独立行政法人新エネルギー・産業技術開発機構(NEDO)からの助成金を活用して肝疾患のバイオマーカー開発に着手しました。この結果、売上高は2,500千円、セグメント損失は12,029千円となりました。

③ メタボロミクスキット事業

大学向けにメタボロミクスキットを2システム販売した他、試薬や限外濾過フィルターの販売が増加した結果、売上高は17,107千円、セグメント利益は6,688千円となりました。

④ 人材派遣事業

大学向けに研究者、技術者等を派遣し、売上高は12,326千円、セグメント利益は1,028千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,554,439千円となり、前連結会計年度末に比べ102,300千円減少しました。これは、仕掛品が9,404千円増加したものの、売掛金が74,239千円、現金及び預金が60,851千円減少したこと等によります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は158,889千円となり、前連結会計年度末に比べ56,300千円増加しました。これは、工具、器具及び備品が67,507千円増加し、有形固定資産の減価償却累計額が11,622千円増加したこと等によるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は174,768千円となり、前連結会計年度末に比べ28,812千円増加しました。これは、短期借入金が20,000千円、1年内返済予定の長期借入金が30,000千円減少したものの、その他に含め表示している未払金が増加したこと等によるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は58,317千円となり、前連結会計年度末に比べ6,918千円減少しました。これは、長期借入金が4,260千円、リース債務が3,642千円それぞれ減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,480,243千円となり、前連結会計年度末に比べ67,894千円減少しました。これは、新株予約権の行使により資本金が10,820千円、資本剰余金が10,756千円増加したものの、四半期純損失89,960千円を計上したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、例年第4四半期連結会計期間に売上高の計上が集中する傾向にありますが、当第1四半期連結会計期間の連結業績は、予想の範囲内で推移しております。また、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しにつきましても、現在のところ重要な変更事項はありません。そのため、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年6月12日公表のとおりといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	909,366	848,515
売掛金	122,259	48,019
有価証券	600,019	600,099
商品	476	7,548
仕掛品	65	9,470
原材料及び貯蔵品	9,250	10,185
その他	15,428	30,605
貸倒引当金	△126	△4
流動資産合計	1,656,739	1,554,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,990	15,278
工具、器具及び備品	148,525	216,033
リース資産	90,986	90,986
減価償却累計額	△170,358	△181,980
有形固定資産合計	84,144	140,317
無形固定資産	6,602	6,602
投資その他の資産	11,842	11,969
固定資産合計	102,589	158,889
資産合計	1,759,329	1,713,329

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4	79
短期借入金	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	47,040	17,040
リース債務	14,337	14,430
未払法人税等	9,622	2,182
その他	54,951	141,035
流動負債合計	145,955	174,768
固定負債		
長期借入金	31,460	27,200
リース債務	23,243	19,600
繰延税金負債	608	583
資産除去債務	9,518	9,543
その他	404	1,389
固定負債合計	65,235	58,317
負債合計	211,191	233,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,216,407	1,227,228
新株式申込証拠金	—	1,000
資本剰余金	1,205,188	1,215,944
利益剰余金	△880,475	△970,436
株主資本合計	1,541,120	1,473,736
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7,017	6,507
その他の包括利益累計額合計	7,017	6,507
純資産合計	1,548,137	1,480,243
負債純資産合計	1,759,329	1,713,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	91,870
売上原価	46,870
売上総利益	44,999
販売費及び一般管理費	134,711
営業損失(△)	△89,712
営業外収益	
受取利息及び配当金	169
補助金収入	1,259
その他	139
営業外収益合計	1,569
営業外費用	
支払利息	484
その他	177
営業外費用合計	661
経常損失(△)	△88,804
税金等調整前四半期純損失(△)	△88,804
法人税、住民税及び事業税	1,180
法人税等調整額	△25
法人税等合計	1,155
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△89,960
四半期純損失(△)	△89,960

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△89,960
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△510
その他の包括利益合計	△510
四半期包括利益	△90,470
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△90,470
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	メタボローム 解析事業	バイオマーカー 事業	メタボロミクス キット事業	人材派遣事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	59,935	2,500	17,107	12,326	91,870
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	59,935	2,500	17,107	12,326	91,870
セグメント利益又は損失 (△)	9,099	△12,029	6,688	1,028	4,787

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,787
全社費用(注)	△94,499
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△89,712

(注) セグメント利益の全社費用△94,499千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成26年6月30日)
	生産高(千円)
メタボロミクスキット事業	4,182
合計	4,182

- (注) 1. 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。
 2. 上記の金額には、メタボロミクスキット事業のうち、試薬キットに係る部分を記載しております。
 3. メタボローム解析事業、バイオマーカー事業及び人材派遣事業については、業務の性質上生産として把握することが困難であるため、記載しておりません。

②仕入実績

当第1四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成26年6月30日)
	仕入高(千円)
メタボロミクスキット事業	12,240
合計	12,240

- (注) 1. 金額は、仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。
 2. 上記の金額には、メタボロミクスキット事業のうち限外ろ過フィルターに係る部分を記載しております。
 3. メタボローム解析事業、バイオマーカー事業及び人材派遣事業については、業務の性質上仕入として把握することが困難であるため、記載しておりません。

③受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	受注残高(千円)
メタボローム解析事業	134,944	127,525
バイオマーカー事業	—	7,500
メタボロミクスキット事業	16,814	13,653
合計	151,758	148,679

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
 2. 人材派遣事業については、業務の性質上受注として把握することが困難であるため、記載しておりません。

④販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
	販売高(千円)
メタボローム解析事業	59,935
バイオマーカー事業	2,500
メタボロミクスキット事業	17,107
人材派遣事業	12,326
合計	91,870

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。